



# 井上さちこ通信



みなさまと一緒に歩みます 2019 (平成) 31年2月号 討議資料

井上さちこ応援団：廿日市市福面 3-14-14 Eメール：luckey@network.email.ne.jp  
TEL/fax：0829-56-1668 HP：http://www.inoue-sachiko.com/

## 資源ごみ持ち去り禁止条例 ・ 家庭系可燃ゴミの有料化条例について

環境産業常任委員長として、「市が指定する者以外の、ごみ集積所からの資源ごみの持ち去り禁止条例制定」に積極的にかかわりました。万年青会、女性会、子ども会の重要な活動資金となっているので、平成30年10月1日に条例制定後は、皆さんから効果があったよという声をいただきました。

- ・対象資源物 古紙類・びん類・かん類・布類・ペットボトル・プラスチック製容器
- ・目撃情報は市役所に通報を~持ち去る人がいても声をかけず、日時・場所・車両ナンバー・持ち去る人たちの特徴を市役所の廃棄物対策課まで連絡してください。(Tel30-9133)

### 家庭系可燃ゴミの有料化については、市民負担を求める改正には、悩みましたが賛成しました。

平成27年12月に廃棄物減量等審議会から有料化について「適切な制度設計で導入した場合、ごみ排出抑制や資源化促進効果が期待でき、実施することが望ましい」と答申が出て、市は平成29年度から導入を計画していました。しかし、市は平成31年に木材港に新焼却施設が完成することもあり、平成28年から29年まで「更なるごみの減量化・資源化に向けて」をテーマに33回の出前講座を実施しました。これらの機会に更なる減量化を市民に説明・理解を深めてきたと説明されています。

環境産業常任委員会報告会でも、参加者から、「条例制定後に市民の意見を聴くとは、市民軽視だ」という厳しい意見がでました。しかし議会には、市が議会に考えを聞く前に、条例の中身について事前に市民の意見を聴くのは議会軽視だという考えが根強くあり、この点は議会運営協議会で検討すべき重要な課題だと思えます。

有料化はごみ袋1リットル当たり1円(税込)で、2020年4月から導入です。

現在は、ごみ袋の代金だけが市民負担で、袋の代金は、市に入らず、袋業者に支払われています。

また焼却施設での処理費用は「無料」ですから、分別してゴミを出す家庭は、分別をしないでゴミを出す家庭のごみ焼却費用も負担していて、不公平だと思えます。

将来的にも市民の高齢化が予測され、年金生活者が増え、その結果住民税の納税者が減っていくこと、また40年前に作られた大きな団地の住宅の固定資産税が安くなっている現状から、「市民税」が減っていくことに備えなくてはならないとの考えで、有料化の導入に賛成しました。

私は環境産業常任委員長として、超高齢化社会を迎えるにあたり、ゴミに関わることは毎日のことなので「ゴミ行政に在宅福祉の考えを取り入れてほしい」と次のことを担当部長・課長に申し入れました。

- ① 高齢者世帯で困っていることは、庭木を30cmの長さに揃えて出すこと
  - ② 高齢者や体が不自由な方がゴミステーションに出せなくなったときのこと
  - ③ 廃品回収の資源ごみに対する報奨金の値上げについて
  - ④ 市民への出前講座を積極的におこなうこと
- 以上を検討するよう要請しました。

この結果は、

- ① 木を粉碎する車を購入し、地域の身近な場所に派遣して庭木の回収を行う
- ② 住民自治を育むために、隣近所で助けあう自治会を支援する、さらに個別収集も将来取り入れる
- ③ 報奨金は、3円/kgを5円/kgに増額する
- ④ 減免対象として2歳未満の乳幼児がいる家庭、高齢者で紙おむつ使用者世帯、生活保護世帯等に年に30枚(2,750名)交付する
- ⑤ 出前講座は、女性会や公衆衛生協議会など、団体にも積極的に行う

新しい袋はカラス対策のため「黄色」になります。

これまで使ってきた袋は、燃やせるゴミ袋以外は、資源ごみ・埋め立てごみ・小型複雑ごみ・有害ごみは、使えます。区、女性会、万年青会でも積極的に出前講座を招聘してください。(Tel30-9133)

## JR 宮島口駅の橋上化のための前提条件の道路が出来つつあります



廿日市市議初当選の時（平成 17 年）から JR 宮島口駅を阿品駅のように北口を整備し、橋上化をと一般質問を重ねてきました。左の写真は競艇場前の踏切付近の・新設赤崎14号線です。東京オリンピック、パラリンピックが始まる前までに、新宮島口棧橋が完成し、棧橋付近の公共下水道も完成します。その次は北口の公共下水道の整備や JR 宮島口駅の建て替え・橋上化に取り組むようチェックします

## 青葉台地域土砂災害防止工事に取り掛かっています（10年間継続工事）



平成29年9月に県が一方的に特別区域（レッド）と警戒区域（イエロー）を指定しました。青葉台エリアの市民が科学的に指摘する質問書を県・国に提出し、粘り強い取り組みを継続してこられました。市は、避難路確保の観点から、「市道福面23号線」（福面2～3丁目山際の市道）法面対策工事費1000万円を平成30年度予算に計上し、レッドを消す工事に取り掛かりました。**井上さちこ**はこれからも市民と一緒に取り組みます。

## 国道2号線・宮島競艇場前踏切付近の建物撤去と安全な道路への改良



1区の要望をもとに一般質問をし、踏み切り前にあった「見通しを遮る建物の撤去」し、JR 宮島口駅方面から青葉台に上るときの「左折レーン」ができました。「本当に安全になりました。」という声を頂いています。これからも**井上さちこ**は、区と一緒に活動して参ります。

### 1区集会所立て替え問題



現在の集会所は、耐震性を備えておらず、立て替えが必要です。地域住民の皆さんの意見は、赤崎児童公園内につくってほしいという意見が強かったため、区と一緒にその方向で、市役所地域政策課・大野支所管理課と協議を重ね、**公園内に集会所を建設することについては、おおむね了解が取れました。**現在、建設費の負担割合について、協議をしています。

**井上さちこ**はこれからも、みなさまと一緒に歩んでいきます。よろしくお願ひします。



### JR 宮島口駅地下道の安全対策



↑  
お気づきでしたか？昨年7月、市に要望し、地下道では不審者が潜んでも「見えるように」中央やコーナーに鏡を取り付けてもらいました。